

取組名称	木質ユニット つな木 を活用した「木材インフラ」 サーキュラーマウンテン			団体設立後の経過年数	5年
応募取組主体名称	株式会社 日建設計 Nikken Wood Lab	活動地域	東京・名古屋・能登	応募取組の活動年数	5年
取組主体の種別	企業 / 学校 / NPO・任意団体 / 自治体 / 地域コミュニティ / 個人 / ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手が中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / その他				
応募取組に関連する実行委員会特別賞	サステナブルデザイン賞 / 子どもエンパワーメント賞 / 環境と福祉賞 / 環境地域ブランディング賞 / 環境ひとづくり賞 / 環境社会イノベーション賞 / 地球と人への思いやり賞 / SDGsビジネス賞 / EXPO2025 いのち動的平衡賞				



取組の要旨	<p>Nikken Wood Labが企画・プロデュースした、木質ユニット「つな木」は、木材と専用クランプを用い、誰でも簡単に、自由な用途とサイズで空間を組み立て、また、組み換えることができます。</p> <p>今回、展示を主としたイベントの仮設木質空間のデザインに際し、森林資源を都市の仮設木質空間へ活用、さらにイベント終了後は、木質空間を地域の家具/什器へ転用するサーキュラーデザインを計画しました。</p>
実績の要旨	<p>「木製品」をテーマとした展示イベントは東京・名古屋にて各2日間ずつ、開催されました。</p> <p>展示を始め、国産材楽器ライブ、木育ワークショップなど、様々な「コト」づくりが実現されました。</p> <p>転用先は、能登半島の復興支援として、屋台・ベンチへ姿を変え、被災地で人が集まる場となり活用されます。</p> <p>組み立ては、現地の方、ボランティアの高校生を含め、ワークショップ形式で行われました。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	展示で使用した木材(資源)を処分するのではなく、組み換え、別の場所・用途で再利用。
	社会・経済への貢献	転用した家具や什器を、地方や被災地に寄贈し、地域の再興に貢献。
	地域資源の活用	森林資源の循環に配慮し地域製材所で加工が可能な製材45角を使用。
	普及・汎用性	つな木は、誰でも簡単に組み立てることができます。つくることの喜びや自然な笑顔を生み出します。
	革新・ユニーク性	建築を組み立てる行為を一般の人々に開放します。また、好きな形に自由に組み換えることができます。
	継続性	新しい木材需要を創出することで自立した地域づくりに貢献します。

展望の要旨	新しい木材需要となるつな木を、地域製材所へ普及するプラットフォーム「つな木つながるCLUB」をつくります。
-------	---